

第1回 長浜市産業文化交流拠点整備検討会議 会議録

【日 時】平成27年10月5日（月） 午後2時00分から午後4時10分まで

【場 所】長浜市役所 3階 コミュニティルーム3-B

【出席者】◇参加者9名、市9名、コンサルタント4名 (敬称略)

滋賀県立大学	松岡 拓公雄 (座長)
立命館大学	岡井 有佳
長浜市図書館協議会	森川 裕子
長浜地区総合施設建設促進協議会	漣 泰寿
長浜ビジネスサポート協議会	奥田 豊和 (代理出席)
長浜商工会議所	伊吹 正弘
長浜市社会福祉協議会	伊藤 雅明
(公募市民)	川村 美津子
(公募市民)	大橋 優子

総務部	且本部長
財産活用室	嶋田室長 (事務局)
財産活用室	中島副参事 (事務局)
財産活用室	田中副参事 (事務局)
財産活用室	片山主査 (事務局)
生涯学習課	酒井課長
社会福祉課	横井理事
商工振興課	米田課長
教育指導課図書館運営室	川瀬室長

(株)日本設計関西支社 垣口、東野、小西、岸

【欠席者】2名

淡海文化振興財団	北村 欣見子
長浜観光協会	上羽 輝明

【傍聴者】1名

【内 容】

1. 開会

2. あいさつ

市 長： (市長あいさつ)

本日は、第1回長浜市産業文化交流拠点整備検討会議に、市内各所、また遠方からお集まりくださりありがとうございます。

皆様には日頃から市政各般にわたり、何かとご理解、ご協力を賜わり重ねてお礼申し上げます。

長浜市役所新庁舎と長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略 長浜市人口ビジョンのパン

フレットを配付しましたが、1月5日から長浜市の推進拠点としてこの庁舎で活動しています。旧病院の市役所への活用は全国に例がなく、合理的に活用しています。1市8町が合併し、市政は合併効果をしっかり上げていくことに専念しています。懸案であった庁舎も完成し、約750人の職員がここで働いており、1箇所に行政推進拠点を集中させた市政の推進拠点となっています。

また、長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、人口が減り始めることにどう備えていくか、国、県、市が連動して取り組むため、長浜市の総合戦略、人口ビジョンをとりまとめましたのでご一読いただきたい。

合併後の大きな課題である庁舎建設は丸4年の月日を重ね竣工しました。その跡地をどのように活用するかは行政にとっても大きな課題であり、市民の皆さんも注目の課題です。

今年3月には導入機能の特徴や整備基本方針等をまとめた「長浜市役所本庁跡地等整備基本構想」を策定しました。今年度は、基本構想をふまえ、事業推進にあたっての課題整理を行い、施設の設計、建設工事へ繋げていくため「長浜市産業文化交流拠点整備事業計画」の策定を行います。

本計画は、中央図書館、公民館、市民活動支援、地域福祉支援、産業支援の機能に加え、長浜商工会議所を併設する複合機能施設の整備計画であり、いかに施設機能を有機的に連携する仕組みをつくり、魅力ある施設にするかが事業計画策定の大きなテーマとなります。

事業計画の策定にあたっては、より多くの方々に質の高い行政サービスが提供できるよう、有識者や関係団体、市民の方々から広くご意見をお聞きしながら検討を進めていきたいと考えています。

皆様方には、この施設がすばらしい施設となるよう率直なご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

3. 参加者の紹介

事務局： 松岡先生から順に自己紹介をお願いします。

(参加者自己紹介)

※欠席者 淡海文化振興財団 北村氏、長浜ビジネスサポート協議会
押谷氏 (代理出席 奥田氏)、長浜観光協会 上羽氏

事務局もあわせて紹介します。

(職員自己紹介)

今年度、長浜市産業文化交流拠点整備事業計画を策定するにあたり、ご支援いただく(株)日本設計関西支社の方を紹介します。

(コンサルタント紹介)

4. 検討会議の趣旨、開催要領について

事務局： (事務局説明)

○【資料1】長浜市産業文化交流拠点整備検討会議開催要領

・市役所旧本庁跡地での産業文化交流拠点整備を推進するため、広く関係者や市民からの意見聴取を行う

○事業計画策定にかかる推進体制の概要

・庁内検討組織の検討委員会に具体的検討を行う幹事会を設置。コンサルタントの支援を受けながら検討を進める

・関係各課は各機能関係団体との意見調整を行う

- ・学識経験者、関係団体、公募市民の 11 人で組織する検討会議から意見聴取し計画に反映していく

5. 座長の選出について

事務局： 本会議の開催要領第 4 条の規定で、互選により検討会議を進行する座長を定めることとなっていますが、いかがでしょうか。

特になければ、事務局として、昨年度、本庁跡地等整備基本構想検討会議の座長として会議の意見をとりまとめていただき、建築部分をはじめ広い見識をお持ちの松岡先生に座長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは、座長は松岡先生をお願いすることとします。よろしくお願いします。

座長： 長浜市には長い間、関わらせていただいています。地域貢献という大学の方針とも合致し、また、学生の学習課題にも使わせていただいたりもしており、長浜市の皆さんにお礼申しあげます。今回の計画では、社会福祉協議会や長浜商工会議所の敷地を含め、きれいな形で整備でき、駅周辺と庁舎周辺の二局化構造もいよいよ最終的な整備ができるのではないかと思います。豊公園の整備にも関わらせていただいているが、その整備が終われば駅のほうもよくなり、長浜市の都市計画がわかりやすい軸線のうえに置かれ、二局化し、うまく流れるような図が見える。都市は生き物なので、生活の力等で変化していくが、この計画が終われば、大きな事業が一段落するのではないかと思いますので、皆さんの高い私見から議論を重ね、市にとってよいものにするため協力をお願いします。

3. 議事

- (1) これまでの検討経過について
- (2) 事業計画について
- (3) 事業計画策定スケジュールについて

事務局： (事務局説明)

○【資料 2】長浜市役所本庁跡地等整備基本構想

- ・本庁跡地が果たすべき役割を考え、行政課題の解決に繋げるとともに、求められる機能の集約による公共施設複合化を図り、有効活用を行う

- ・整備コンセプト

[基本理念] 人・文化・産業が織りなす、活力と魅力あふれる都市空間の創出

[基本方針] (1) だれもが学び、活動し、成長できる場づくり

(2) 交流・憩いの場づくり

(3) 官民連携による産業・賑わい・地域の活性化への拠点づくり

- ・導入機能

中央図書館機能、公民館機能、市民活動支援機能、地域福祉支援機能、産業支援機能、(併設施設) 長浜商工会議所、共結^{きょうゆう}スペース、駐車場 (施設駐車場、観光バス乗降所)、その他 (チャレンジショップ等の設置の検討)

○【資料 3】事業計画 (骨子案)

- ・基本構想として本庁跡地をどう使うかを中心に考え、導入機能はまとまった。そこで見えてきた課題を今年度、事業計画としてまとめる

- ・事業計画はやりたいことを具体的にまとめる計画策定の段階という位置づけ。設計に進むためのまとめを行う

- ・交流推進計画 (コミュニティプラン)、施設計画 (フィジカルプラン)、実施計画 (マネ

ジメントプラン) のトライアングルプランにまとめる

○【資料4】事業計画策定スケジュール

- ・ 検討会議は年内に3回ほど開催してプランを検討し、12月の3回目には計画としてまとめたものを提案したい
- ・ 1月から計画素案のパブリックコメントを実施し、3月末にはまとめたい
- ・ 検討経過はHPでの公開やかわら版で情報提供し、ワークショップも開催したい

座長： 事業計画を3つのプランにまとめられているが、本会議ではどこに重点を置くのか。

事務局： トライアングルプランという形で3つの計画を並行して進めないと事業計画は成立しないと考えているが、特にマネジメントプランは権利関係の整理、民間活力導入の検討の専門的な部分や、補助金についてなど、国等と協議しながら進めるものと思っている。コミュニティプランやフィジカルプランでは建物内の機能の組み合わせ、大きさ、^{きょうゆう}共結スペースによってどんな効果が生まれるか等を検討していきたい。実施計画も報告するが、こういう部分の意見をいただき参考にしたいと考えている。

座長： 他に質問は。

(なし)

(4) 部門ヒアリングによる意見集約と課題点の整理

(5) 全体規模の検討

(6) 分棟形式の検討

事務局： (事務局説明)

○【資料5】部門ヒアリングによる意見集約と課題点の整理

- ・ [財産活用室] 商工会議所部分を含め 6,200 m²が目標値
共用機能を集約し効率的な施設計画としたい
商工会議所の整備手法の整理が必要
- ・ [中央図書館機能] 図書館基本計画で示す開架 18 万冊、閉架 12 万冊の確保
- ・ [公民館機能] 単体施設と同様の 1,000 m²が目標
公民館機能全体が^{きょうゆう}共結スペースとして共用することになる
- ・ [市民活動支援機能] ^{きょうゆう}共結スペースの充実が必要
- ・ [地域福祉支援機能] 市民活動支援機能と一体のサービスをめざしたい
- ・ [産業支援機能] 専用部 400 m²を要望
図書館と一体になるため、ビジネス支援図書館をめざしたい
- ・ [長浜商工会議所] 専用部 610 m²を要望、費用負担は専用部のみにしたい
利用時間、セキュリティ管理等が異なるため分棟形式を希望
- ・ 施設計画の課題点 ①機能の集約化による面積の削減
②建物の分棟化により生じる機能的な制限の整理

○【資料6】全体規模の検討

- ・ 各部門からの要望面積の合計 約 9,000 m²、機能の実現可能性と複合化を調整した面積として約 6,200 m²を目標値とした
- ・ 会議室面積は稼働率が8割以下になるよう調整し集約
- ・ 各部門からの要望駐車台数の合計 493 台、稼働率を考慮した調整台数 226 台、公用車・

サービス車 48 台

- ・必要駐車台数は最大台数を採用すると過剰な計画となるため、利用率を考慮した調整台数を採用し、計画台数は 250 台以上とする

○【資料 7】分棟形式の検討

- ・ 1 の敷地に対し 2 以上の建物を建てる場合、用途上の不可分でなければならない
- ・ 別棟にするには用途上のつながりが必要
- ・ 1 棟の場合、耐火建築物とする必要がある
- ・ 分棟の場合、接続する渡り廊下の幅や長さ等の条件が定められている
- ・ 費用負担のパターンは、面積按分による区分所有と立地条件の評価による区分所有
- ・ 分棟における用途の分割パターンと建設費シミュレーション

(試算条件：耐火建築物 45 万円/㎡、準耐火建築物 30 万円/㎡での想定)

[例 1]耐火建築物と準耐火建築物の分棟（産業創造センター及び商工会議所を別棟とした場合）

部門ヒアリングでのイメージに近いパターン。渡り廊下による機能連携の分断が計画上の課題となる

[例 2]試算区分に合わせた分棟（商工会議所を別棟とした場合）

試算区分が明確になるが、分棟要件の用途が可分となり、敷地分割等の手続きが必要

[例 3]商工会議所を合築した場合

総工事費が高額になり、商工会議所の負担額が増加する

座 長： 資料 6 全体規模の検討で、面積が 3 分の 2 くらいに縮小されているが、各機能の専有面積は変わっていないか。

コンサル： 専有部分の面積の圧縮はしていない。

座 長： 全体共用部の面積を減らす説明があつたが、全体共用部は重要なスペースだと思う。各機能が持つスペースを共有することで共用部の面積を減らすということか。

コンサル： 全体を削減することで共用部（廊下、階段等）も自動的に減ることになる。

座 長： 市民が主体で使う部分が減っていくより、共用部にはゆとりを持たせ、その他をコンパクトにしていく方向でしていただきたい。

委 員： 24 年 6 月に長浜商工会議所と長浜北商工会、東浅井商工会、びわ商工会が長浜ビジネスサポート協議会を立ち上げた。商工会議所、商工会それぞれに法律があり、合併問題が簡単には進まないなかで、ビジネスサポート協議会の発足自体が稀なこと。長浜の経済を支えていくのに商工会議所と商工会が一緒にやっていくため産業創造センターの位置づけをお願いしている。9 月にバイオ大学や東北部工業技術センター、バイオビジネス創出研究会、ハローワーク、金融協議会、よろず支援拠点、SOHO 等の団体責任者の会議を行い、産業創造センターの利用について要望をまとめた。コンサルとのヒアリングのなかでは会議所 610 ㎡、産業創造センター 400 ㎡を要望していたが、行政と経済が一体化していくうえで、10 機関が意見交換し、資料に記載されたようなものを取り入れていけないといけないう話が出てきたので、計画のなかの産業創造センター 400 ㎡を 700~800 ㎡に上げてほしい。市を活性化するためには経済、産業がよくなれないといけないうので、センターの面積を拡大してほしい。

分棟方式については、機能も違うし、単価も図書館等の45万円/㎡と産業創造センター、商工会議所の30万円/㎡という方向で分棟し進める気持ちを持っている。分棟は、産業創造センターと商工会議所を一体化したもので分棟したい。商工会議所の共用面積90㎡は産業創造センターでお願いしたいと考えている。駐車場は120台くらい要望したところ圧縮されている気がする。そういうことも含め、計画のなかでもう一度商工会議所と産業創造センターのあり方を練っていただきたい。

座長： 資料7の3頁、例1のパターンに近いことになるか。

コンサル： 例1の面積を見直す形になろうかと思う。

座長： 全体としてどの部分を共有するかに絡んでくる。敷地を分割せずに分棟にしたいということであれば駐車場は共有することになる。説明のあった台数の計算も一般的に整理されているので大きな問題はないと思う。分棟にするかどうか、委員からはっきり産業創造センターと一体で分棟にしたいという意見があったが、これに対して意見はあるか。造り方でどうとでもなるし、全体のコストパフォーマンスがどうなるのか、設備等も含めて別々にするか等で実際に単価が上がることもあり得るので、進めていく段階で詳しく教えていただければと思う。まずはそういう方向で問題ないか。

(発言なし)

特にないみたいなので、それで進めていただきたい。その他にご意見は。

委員： 社協には福祉のたすけあいや地域福祉権利擁護といったプライベートなことで来られることが多い。基本構想でも市民活動支援機能と社会福祉支援機能は連携して取り組むことになっていて、資料6のイメージでも部門共用部で書かれているが、個人情報には配慮いただきたい。福祉の生活支援を求めて来られたり、さまざまな相談に応じたりするので、そういうことに配慮したレイアウトにしてほしい。

委員： 市民感覚と行革の観点から、このお金を出せるのかなと思う。シミュレーションは最低コストでの試算なのか。贅沢はできない。市役所の駐車場も近いので当然視野に入れて考えていると思うが、立派なハコモノを建てるだけでなく、いかにお金をかけずに人を繋いでいくか。複合施設は大歓迎だが、長浜の地味なものに人が息吹を吹き込んでいくようなものを造っていただきたい。金額だけが躍っていく感じだが、行革のなかでは人1人減らすとどれだけの節約になるなど、どう減らしていくかを考えているなかで、これだけが躍ってしまうと、同じ市政のなかで本当に継続可能なのか。高齢化が進み車でも来られなくなった後どうするか。またそこからのサテライトが必ず必要になってくることを念頭において造らないといけない。

座長： バラバラのものをまとめようということでスタートしている。完全なものではないが、最低限必要なものだけでやっていくという姿勢は変わっていない。協力し合ってコンパクトなものを造り、無駄なものを省こうとしている。コスト的なものは社会情勢でどんどん上昇している。

(7) 配置イメージと特徴

事務局： (事務局説明)

○【資料8】配置イメージと特徴

- ・プロポーザル時の提案として、本庁舎跡地の桜や周辺の緑を活かした憩いの場をつくる『市民の森』と計画地エリアと長浜駅周辺エリアを結ぶ駅前通りを中心市街地の2核1

モールとして位置づけ、計画地をまち歩きの回遊性を高める『まち歩きの拠点』の1つとすることを提案している

・敷地内の施設配置パターン

(敷地A：本庁跡地を中心とした敷地、敷地B：商工会議所と公民館の敷地)

計画の自由度を考慮すると、敷地Aに建物を配置、敷地Bは駐車場として利用するほうがよい

・施設配置イメージ

[配置イメージA]長浜八幡宮への軸線パターン

[配置イメージB]街路景観形成パターン

[配置イメージC]フロントコートパターン

座長： 配置イメージは次回会議での議論の中心となるが、その前段で質問はあるか。
(なし)

(8) 意見交換

座長： さきほどまでの議論を含め、自由にご意見をお願いします。

委員： 図書館は静かに使うところで、公民館は子どもが来たり、音楽やカラオケサークルがあったりするところだが、それらを一緒にするのは可能なのかなと思う。

座長： 設計でいかようにもできる。管理上の区画や防火上の問題など技術的なことはあるとしても、市民側からどんどんこうしたいと言うべきだと思う。

コンサル： そういう事例もたくさんある。最近では図書館も静かに読むスペースがあったり、いろいろな活動を共有されるスペースがあったりと、ゾーニングのなかで対応することも可能。

委員： 防音などにするとコストが上がってくるということか。

事務局： 設計の段階で、どういう形で進めていくか、個々の仕様はバランスを考えてまとめていく

コンサル： ことになる。1つのスペックが上がったからといって全体が跳ね上がることにはならない。どこかを上げればどこかを下げる工夫が設計なので、バランスをとりながらやれば可能。

座長： 最初の段階なので、今はまだ取り込んでもらえると思う。

委員： バスターミナルは駐車場ではないのか。

事務局： 現在、観光バスはお旅所1箇所ですべて乗降しているが、バスの乗降場所を東にも持つ想定。本来、南側の敷地でもよいのかもしれないが、観光客の利便性を考えると本庁跡地側にあったほうが良いので現社協の一角が良いと検討している。

委員： 駐車場自体は今と変わらないのか。

事務局： はい。乗降のみ。選択肢を増やしたい。

委員： シルバーウィークの渋滞は今までにないくらい大混雑だった。観光バスの方はリピーターがおられるが、車で来る方は駐車するところもなく、これではリピーターにならない。観光産業も地場産業の大きな財源になる。そういうことも考えた駐車場のあり方、図書館や商工会議所の利用者も大事だが、観光客の利便性も考えて進めていかないとならないと思う。

座長： 都市計画に関わってくる話。車を市街地のなかに入れるのがいいのか、周辺に止めて別の乗り物で入れるのか、市がどうするか、そのなかでどう位置づけるのかも視点に捉えてやっていただきたい。

委員： 豊公園の再開発も進んでいる。動線が八幡宮から駅、駅を越えて城一帯までを考えるのは

よいことだと思う。市の全体構想を考えるとこの施設をどう造っていくのかが大きなポイントになる。市内には県の機関が何もない。せっかく立派なものができるので、ワンストップでできるものができれば変わってくると思う。

座長： この交流拠点が1つの核となるようなものであると同時に、市民が使いたい場所を造らなければならない。重要な建物となるので皆さん意識を高めてほしい。

委員： 生涯学習を含め、このまちでどういきいきと健康に過ごしていくか、その拠点となるような場所を期待している。この地区は高齢者率が高いが、歴史文化を支えている地域でもあるので、その地域住民と広域の住民が集い、学んだり支援を受けたりする施設が大事だと思う。資料6、2頁のイメージは昨年からの議論をまとめたものだと思うが、これを造ってどんな人が来られるのかイメージできない。普段公民館活動や図書館に来られないような方をも引きつけるような、人生を楽しんでいこうという施設にならないといけないと思う。市は当初から「共結」といういい言葉をおっしゃっていたが、今日の提示の仕方では会議室を一緒に使うとただで、もっと共結のあり方を「おもしろいので行ってみよう」と思えるような具体的なプランを提案してもらいたい。それがあれば各機能がうまく活動できると思う。

観光の立場から、一般観光客の駐車場も必要とは思いますが、これだけ狭いエリアで大型駐車場がどの程度必要かというシルバークワイクやGW、お盆等に集中的に車がいっぱいになるくらい。それよりもどこかにバスを止めて人が回遊するまちの構想を図るという点では東にもバスの乗降所を置き、八幡宮を經由し石畳の商店街を歩くといった東から西への回遊路線をつくるのは非常にすばらしい発想だと思う。ぜひつくってほしい。

座長： 今日は共結スペースのイメージに重点は置かれていなかったが、今までの話が継承されていると思うし、今後それを具体的にしていかなければならない。そこが重要なポイントなので、たとえ商工会議所が分棟になったとしても全体を繋ぐものとして共結スペースが建物のポイントになる。それに関しては、時間をかけて話していきたいと思う。

委員： 資料6の棒グラフを見ると図書館が圧縮されていて心配しているが、図書館としては開架18万冊、閉架12万冊は確保したい。中央図書館として、知の拠点としての機能が十分果たせるようにしていただきたい。

公民館は賑わいがあった、図書館は静かという話もあったが、図書館のなかでも静かなところと賑わいのあるところの考えがあるので、賑わいのなかでは子どもを連れてお母さんにも来ていただき、図書館で過ごしてほしい。「2学期始まった時に学校へ行けなかったら図書館へおいで」という話があったが、開いていればいつでも誰でも来られるのは図書館だけだと思っているので、市民がたくさん利用してもらえる施設にしてほしい。駐車場については、北部の方もぜひ見に行こうと思ってほしいし、小さなお子さんを連れての方は必ず車移動なので、駐車場確保はお願いしたい。図書館利用者はもちろん職員の働きやすい動きやすい職場としてコンパクトでも十分機能を果たせる図書館ができればいいと思う。

座長： 図書館に関しては、面積は減っているが、スペースが小さくなるのではなく余裕がある部分を縮めている感じだと思うので、使いにくくなるわけではないと思う。

委員： 複合機能施設のメリットの一番はコストだと思うが、単にコストのため、分棟が一番安いから分棟にしたという形ではマイナスのイメージになる。せっかくなら複合のメリットとして、これらが一緒になるからうまくコラボレーションできていいものになるというような、例えば外部空間を活用してみんなで一緒にやれるような関係ができればいいかと思う。

委員： 本来なら一体型でしたほうがいいが、基本的に商工会議所は建設費を負担することが大前提なので、同じ単価の場合、あまりにも負担が多すぎる。全体的なコーディネートはコンサルに考えていただき分棟しても差し支えないような形でうまく繋がるようにしたい。会員の皆さんにはできるだけ負担をかけたくない。

7. その他

8. 閉会

事務局： 次回会議は来月にも開催を予定している。開催日程は後日照会する。

今日の意見としては、まずは複合施設を造ることのメリットを強く要望されていると思う。そのなかで必要なお金はかけ、面積は確保していくが、それぞれの理由を説明できないと納得していただけないし、建物ができて使い勝手のよいものができたという評価がいただけない。コストは幾らでもかけていいわけではないので、どの程度の費用が何のために必要かきちんと整理して示していく必要がある。また、駐車場の意見が多く出たが、今日の資料は施設利用者の想定から数字を出している。市役所の土日の駐車場利用も想定されるが、委員がおっしゃっていたシルバーウィーク等に車が混むという話をこの複合施設だけで整理するのかどうかという視点も必要ではないかと感じた。産業創造センターの面積については改めて検討する必要があると思うので、次回会議で報告させてもらうことになるかと思う。

本日のご意見等について、補足等があれば来週月曜日（10/12）までに事務局まで連絡をお願いします。短時間ではありましたが、貴重なご意見をいただきありがとうございました。